

発行日
令和5年9月5日

Vol. 78



発行所

関西配管工事業協同組合

〒531-0072

大阪市北区豊崎3-20-9

三栄ビル6階

TEL(06)6371-5905 FAX(06)6371-9544

編集者

事業部・教育情報部

HP:<https://www.kankan-club.or.jp/>

E-mail:jimu@kankan-club.or.jp

関西配管工事業協同組合機関誌

も く じ



● 第27回通常総会を開催	2
● 令和5年度事業計画	3
● 令和5年度認定職業訓練講座	4
● 竹中工務店と意見交換会開く	5
● 第49回三団体懇談会開催	5
● ボウリング大会開催	6
● 青年部会 工場見学会催す	7
● 日管連が総会と30周年祝賀会開催	8
● 理事会 議事要旨	9
● 新組合員	9
● 配管コンテストでツカサの小谷氏3位入賞	10
● ニュースファイル	10
● 庄司理事長 大阪府知事表彰受賞	12
● 「山中さんを囲む会」催す	12
● 中退共のご案内	12

技能向上・技能者育成に注力



円内は挨拶する庄司理事長

組合の第27回通常総会は5月25日、大阪市北区にある組合事務所の三栄ビル会議室で開催し、34名（委任状出席19名）が出席して、専門工事業として一層信頼される業界をめざし、技術、技能の向上と継承を図るための多彩な事業計画を決定しました。

庄司真之理事長は、日ごろの組合活動への協力に感謝を伝えるとともに、「コロナに翻弄されてきたが、5月からインフルエンザなどと同じ5類に移行し、ゴールデンウィークには各地で人が溢れて、ようやくコロナ前の日常を取り戻してきた」と述べ、さらに「とある講演会で『こけたら起きればいい、

という話があった。当組合もみんなで力を合わせて起き上がっていききたい。世界ではロシアのウクライナ侵攻や中国、北朝鮮の動向をはじめ、自然災害や生活必需品の値上がりなど、この先不安な要素が絶えないが、みなさんと正しい情報を共有し合い乗り越えていきたい」と挨拶しました。また組合活動の近況について「昨年、親団体の日管連がJAC（建設技能人材機構）の正会員団体となり、事務処理は当組合で行うことになった。これからは当組合の会員企業様は外国人の人材を特定技能1号、2号として採用可能となり、幅広く人材を確保できるようにな

った」と報告しました。

議事では令和4年度の事業・決算報告と労働保険事務組合の運営状況、特別会計報告を行い、令和5年度の事業計画、収支予算案についてそれぞれ承認しました。今年度は「配管技能士」の社会的地位と認知度向上に向けた取り組みや青年部活動、情報発信を活発に行い、組織の強化を図っていくことを確認しました。

任期満了に伴う役員改選では、選考委員の指名を受けて理事会を開き理事を選出し、庄司理事長はじめ玉川義光副理事長、小阪武司副理事長が選任され再任を果たしました。理事長に任命された庄司理事長は「引き続き皆さんの協力の下、当組合の発展に微力ながら尽力させてもらいたい」と意欲を示しました。

総会終了後には長年当組合の監事として監査役を勤めた岡崎照雄氏（岡崎産業会長）の退任を受けて、感謝状と記念品を贈呈しました。後任の監事には岡崎信一氏（岡崎産業社長）に決まりました。



退任した岡崎監事に感謝状贈呈（右）

◇令和5年度事業計画◇

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

【総務部事業計画】

1. 組合員企業の経営に役立つ事業の計画と実施
 - (1) 経営者及び次世代経営者のための講演・研修の実施
2. 組合並びに業界の社会的地位と認知度の向上をはかる
 - (1) 日管連の企画・実施する事業に積極的に参加協力する
 - (2) 設備関連の団体との懇談会などを通じて関連業界との意思疎通を図り、建設業界における当組合、ひいては日管連の地位の確立と向上をはかる
3. 組合の発展と財政的基盤の維持向上をはかる
 - (1) 組合員（正組合員・賛助会員）の拡充をはかるための研究をする
 - (2) 組合財政の収支バランスを見直し健全な運営をはかる
4. 組合員相互間の交流と相互理解を促進する
 - (1) 組合員相互の親睦をはかるため、新年賀詞交歓会、見学会など全組合員対象の行事を企画実施するとともに、組合員・賛助会員合同懇談会を随時開催し、情報交換をはかる
5. 青年経営者・後継者の拡充強化をはかるため、組合青年部会の活動事業を支援する
6. 組合ホームページの活用と維持管理をはかる

【教育情報部事業計画】

1. 各種の資格取得支援の体制を維持・充実させ、技術研修会を開催し、高度な技能の伝承に努める
2. 認定職業訓練短期課程配管科1級技能士コースの実施並びに技能検定試験実技講習を実施する
3. 「配管技能士」の社会的地位と認知度の向上を図るため長期的視野のもと研究に努める
4. 「登録配管基幹技能者」の長期目標6000名へ向け「基幹技能者講習」の開催協力をはかる
5. 機関誌「Kan Kanくらぶ」の発行と内容充実をはかる
6. 人材育成と技能伝承についての方策を調査研究する

【事業部事業計画】

1. 労働保険事務組合認可に伴う事務処理体制の確立と、一人親方労災保険特別加入の充実をはかる
2. 配管関連商品の斡旋業務と組合取扱資材の増強をはかる
3. 「工事作業日報」の充実活用と「配管工事積算工費資料」の改訂版発行を計画する
4. 賛助会員並びに管工機材団体との懇談会の開催を企画し、管工事業界全体の向上をはかる

【青年部会活動計画】

1. 日管連全国青年部会並びに大阪府青年中央会との親睦・交流をはかる
2. 毎月1回の例会を開催し、情報交換をはかる
3. 工場見学会・勉強会・親睦会の実施
4. 親組合の記念行事・展示会などへの支援・協力
5. 青年部会への新規加入部会員の募集
6. 組合ホームページを活用し、組合事業活動並に青年部会の活動をよりPRする
7. 第21回管工機材・設備総合展開催に伴う後援と総合展への出展

組合役員構成 (敬称略)

理 事 長 庄 司 真之 (株ツカサ)
副理事長 玉川 義光 (玉川設備環境)
副理事長 小阪 武司 (小阪設備工業(株))
理 事 中野 広造 (中野設備工業(株))
理 事 池成 信夫 (有信成設備工業)
理 事 立花 昇 (株藤尾設備工業所)
理 事 朝倉 博昭 (有朝倉設備)
理 事 中道孝太郎 (株中道設備工業)
理 事 斉藤 竜久 (株三 進)
監 事 岡崎 信一 (岡崎産業(株))

◇ ◇

事 務 局 小倉 一浩 (事務局長)
榎本 正子 (事務局員)

部 会

総 務 部・部会長 小阪 武司
教育情報部・部会長 玉川 義光
事 業 部・部会長 庄 司 真之

青年部会

部 会 長 斉藤 竜久 (株三 進)
副部会長 庄 司 宝 (株ツカサ)

18日間・25教科に取り組む

組合教育情報部会（部会長・玉川義光副理事長）は令和5年度認定職業訓練講座（配管科1級技能士コース、第24期）を実施し、15社・19人の受講者は猛暑の中で日々の仕事をこなしながら日曜日の休日返上で訓練講座に懸命に取り組みました。

認定訓練講座は4月から9月までの約半年間、尼崎市武庫豊町の兵庫職業能力開発促進センター（ポリテクセンター兵庫）で行われ、18日間の日曜日・延べ126時間（25教科）にわたって続けられました。受講者は1級配管技能士の資格取得をめざし熱心にカリキュラムに取り組みました。

この講座は大阪府の認定を受けた短期課程職業訓練です。修了するには全訓練時間の80%以上の出席と最終日の修了試験に合格しなければなりません。修了者には技能検定国家試験（建築配管作業）における学科試験免除の特典が与えられます。実施日には組合役員が交代で訓練を補佐しながら見守りました。

流体の基礎理論・熱力学の基礎



や材料各論、施工法、建築配管、製図、施工法の一部、関係法規、安全衛生など幅広い研修内容を18人の講師から学んで知識を身に付け、最終日に全教科の総まとめと修了試験が行われました。

受講者の皆さんは酷暑の中、休日返上で講座に取り組み、お疲れ様でした。また、受講者の周囲の方々には何かとご配慮をたまわりました。お礼申し上げますとともに、今後とも認定職業訓練講座の積極的な活用をお願いします。

▽ ▽ ▽

【講師の先生】(50音順、敬称略)

◇阿部 真介◇磯谷 誠

◇小倉 一浩◇鬼武 孝一
◇金野 義弘◇小島 一訓
◇頃末 寛◇鈴木 香次
◇澄川 史朗◇瀧口 佳典
◇竹田 幹◇玉川 義光
◇壺阪 由朗◇直江 健
◇中道孝太郎◇原田 武士
◇宮本 祥子◇森 良則

【受講者】(社名50音順、敬称略)

◇新居設備＝新居 諒馬
◇栄秀設備＝廣澤 涼
◇M'master.p＝北坂 大樹
◇加賀美設備＝加賀美 蓮
◇共栄工業＝松下 遼
◇児玉設備＝児玉 雅己
◇佐々木工業＝佐々木大士
◇佐々木設備＝池本 尚史
◇三進＝斉藤竜久、中村文孝
◇創美＝田中大志、田中佑育
穂積克弥
◇中村設備＝中村昭文
◇浏田工業＝千原慎平
◇星野工業＝星野翔也
星野陸人
◇柳川設備＝柳川静麻
◇吉川工業＝吉川駿平



第49回三団体懇談会

工事関連で情報・意見交換

当組合と近畿ダクト工事業協同組合（ダクト工事団体）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事団体）で構成する「三団体懇談会」は6月23日、組合事務所の三栄ビル会議室で第49回会合を開き、今後の繁忙期における対応や万博関連工事の進捗状況などについて意見・情報交換を行いました。

当番幹事のダクト工事団体の森靖洋理事長の司会のもと、当組合からは庄司真之理事長、玉川義光・小阪武司副理事長、池成信夫理事が参加しました。

協議では「関西の建設現場は在阪のゼネコンでは関西万博を控え、人材確保、受注価格などで困っている状況」などの報告があり、「大阪空気調和衛生工業協会にゼネコンとの間を取り持ってもらいたい」「各地域が多忙で人材を確



保できない」「10月からはインボイス制度も始まることから更に事業主が困惑している」などの現状が示されました。

資材高騰については、各サブコンとの情報・意見交換を積極的に図っていくことを申し合わせました。

また、庄司理事長からの報告で昨年親団体の日本配管工事業連合会（日管連）がJACの正会員団

体となり、事務処理は当組合で行うことについて、特定技能生の申請が遅いことに触れ、更新の処理や請求書の遅延などダクト工事団体も同じ状況にあることから今後の課題として情報を共有していくことを確認しました。

一方、この三団体懇談会はこれまでの年3回開催から今後、年4回開催が決まり、次回は当組合が当番幹事で9月27日に開催されます。

竹中工務店と意見交換会開く

組合は7月3日、大手ゼネコン竹中工務店・大阪本店との意見交

換会を大阪市中央区の同社大阪本店会議室で開催し、18名が参加し

ました。

意見交換会では「働き方改革と生産力確保について」「入職者の確保と生産性向上の取り組みについて」その他同社への意見や要望など業界が抱える諸問題について活発な意見交換が繰り広げられました。

意見交換会終了後は懇親会を催し、今後も関西の現場でお互いが協力し合えるよう親睦を深めました。



ボウリング大会開催



組合は4月21日、大阪市北区のボウリング場ラウンドワンでボウリング大会を開催、12レーン1フロアを貸し切りで使用し、レーンを超えて懇親を深めました。

この企画は昨年末に庄司真之理事長と斉藤竜久青年部会長が「親会と青年部、賛助会員が親睦を図れる機会は何かないか」と模索し、青年部会が中心となって実現しました。

普段接する機会が少ない組合員の女性社員や外国人実習生たちなども参加して当日は40名が集まり、庄司理事長の始球式でスタート、参加者たちは日頃の疲れを忘れてボウリングを楽しみ、大いに盛り上がりました。

競技終了後、斉藤青年部会長が「去年の忘年会の際に庄司理事長に企画を持ち掛けて、青年部が中心になって準備を進めてきた。本

日はたくさんの参加者が集い、皆さんが本当に楽しんでいる様子を顧みてうれしく思う。定期的にこのような交流の場を企画して組合活動の一環として盛り上げていきたい」と挨拶しました。

表彰式で入賞者は組合員から提供された豪華協賛品を受け取り、参加者たちは終始笑顔で歓声をあげるなど充実した大会となりました。



始球式に臨んで挨拶する庄司理事長



挨拶する斉藤青年部会長



女性の参加者



優勝チーム

東尾メックの製造現場見学

組合青年部会（部会長斉藤竜久氏）は8月3日、勉強会として当組合賛助会員でもある継手メーカーの東尾メック（本社・大阪府河内長野市、社長東尾清吾氏）の工場見学を実施しました。

本社工場と南倉庫を中心に同社の主力製品でもある冷媒銅管用継手「Rおっぞん」やステンレス銅管用継手「KKベスト」の組立工程などを見て回りました。

同社は鉄鋼業、各種管継手製造販売、マレアブル継手（白黒継手、ライニング銅管用管端防食継手、耐熱用管端防食継手等）、樹脂管用継手、ステンレス銅管用継手、多層管用継手など多種多様な継手を取り扱うメーカーとして、豊富な実績と伝統を持っています。商品開発力・技術開発力と力強い国内外の協力工場からの調達力は秀でており、六本木ヒルズやグランフロント大阪などでも納入実績を誇り、需要層から高く評価されています。



東尾メック前で記念撮影

参加した青年部員12名は同社本社に現地集合し、組合員の橘一成氏から説明を受けました。はじめに東尾社長から同社の歩みと変遷について説明を受けたあと、鋳物資料館と継手製造現場を見学しました。そのあと松本圭司工場長の案内のもと、樹脂管継手、金属管メカニカル継手などの組立型商品の最終工程までを視察し、ナット組立から検査・梱包に至るまでの生産ラインの工程をつぶさに見て回りました。

最後にテスト室に移動し「Rおっぞん」の施工とバースト試験での耐久性や「KKベスト」の施工

と施工管理の利便性について、実際に体験するなど、その精度の高さと商品開発力・技術開発力を改めて確認しあいました。

見学会終了後、斉藤部会長は「参加した全ての人が感じたと思うが、良い意味で想像を超えた気づきや学びがあった。東尾メック様の素晴らしい社内の雰囲気を感じることができて、私もファンの一人となった」と述べ、「ぜひ管工事組合員はじめ、各社の素晴らしい職人さんや全国の組合の仲間も含め、次回の工場見学会を希望している」と述べました。



製造工程をつぶさに見学



日管連総会・30周年祝賀会

人材育成、被災時の事業継続に注力

日本配管工事業団体連合会（日管連、会長増田幸康氏）は7月21日、第18回定時総会と設立30周年祝賀会を東京都港区の第一ホテル東京で開催しました。



総会では2022年度事業・収支決算報告を行うとともに、23年度事業計画・収支予算、23年度実践スローガンなどを審議決定しました。

事業計画には、登録配管技能者講習に関する諸活動（関連委員会への出席、講習開催、更新手続）、BCP（事業継続計画）の展開、JAC（建設技能人材機構）との情報共有などを盛り込み、今年度実践スローガンとして「チームの絆で 喜び持てる未来を築く 日

管連」を採択しました。

総会後の設立30周年祝賀会では、関東配管工事業協同組合の西尾雄二理事長が開会挨拶として30年間の歴史・沿革を振り返り、今

後のさらなる発展への決意を示した。この中で増田会長は人材育成の取り組みについて、「登録配管基幹技能者が4188人（今年3月末現在）に達するなど積極的に展開してきたことを報告する一方、その技能者の技術が建設キャリアアップシステムのレベル4を満たす形で現場で活用されることが課題とし、JACの正会員となり外国人技能実習生から特定技能への移行申請が可能となったことと合わ



挨拶する増田会長



祝賀会で来賓挨拶を述べる齊藤国土交通大臣



挨拶する庄司副会長（関東団休理事長）

せて人材確保・人手不足解消の一助となるよう努めるとしました。

また、災害発生時の事業継続も重要課題として挙げ、先を見据えた技能継承など組合員の事業発展に尽力すると述べました。

来賓の齊藤鉄夫国土交通大臣は同連合会の30年の歴史とこれまでの活動に敬意・謝意を示すとともに人材確保の困難に対する行政の施策へのさらなる協力を求めました。

日本空調衛生工事業協会の藤澤一郎会長は、空調衛生工事業、配管工事業とも、品質向上と施工の合理化推進による顧客満足の向上が求められていると強調し、業種を超えたよきパートナーとして、同連合会の今後の活動に対する期待を示しました。

関東配管工事業協同組合の奥田仁史理事長が乾杯の音頭をとって乾杯し、30周年の節目を祝いました。



賑やかに祝賀会

理事会 議事要旨

【令和5年3月】

- ①令和5年度新年賀詞交歓会終了報告
- ②令和5年度認定職業訓練配管科1級技能士コース受講申し込み応募状況報告
- ③第48回三団体懇談会出席報告
- ④日管連全国青年部の部会長会議出席報告
- ⑤日管連理事会出席報告
- ⑥事務局職員退職について（職員山中淳市からの退職願を了承）
- ⑦令和5年度の理事会・青年部例会の定例会議開催日程の確認について
- ⑧当組合令和5年度第27回通常総会開催日程と開催場所・方法の検討
- ⑨令和5年度の任期満了に伴う役員全員改選について
- ⑩令和5年度組合事業計画並びに予算編成の基本方針検討
- ⑪新規組合員の組合加入申込み可否（翔栄株の組合加入を承認）

【令和5年4月】

- ①令和4年度後期技能検討1級配管（建築配管作業）受検結果報告
- ②令和5年度認定職業訓練配管科1級技能士コース受講申込者報告並びにカリキュラム・担当講師の決定報告と開講について
- ③令和6年新年賀詞交歓会の開催日程と新年会会場選定について
- ④令和5年度技能検定1級配管受

検対策実技講習の実施日程と講習会場について

- ⑤令和5年度組合年間行事計画予定日程表の作成について
- ⑥令和5年度組合事業計画書（案）の策定について
- ⑦令和5年度組合収支予算（案）の編成について
- ⑧その他（㈱竹中工務店との意見交換会開催について他）について協議

【令和5年5月】（1回目）

- ①庄司理事長、憲法施行記念式での知事表彰受賞報告
- ②日管連理事会出席報告・当組合からは、日管連役員3名（庄司理事長、玉川・小阪両副理事長）が出席
- ③日管連全国青年部・部会長会議出席報告
- ④令和4年度組合事業報告並びに決算報告承認について
- ⑤令和5年度第27回通常総会上程議案並びに総会議事運営方法の検討
- ⑥新規組合員の組合加入申込み可否について（さくや工業株の組合加入を承認）
- ⑦その他（①6月定例理事会の休会について②ボウリング大会、特別教育の実施報告、JAC関係報告）

【令和5年5月】（2回目）

- ①通常総会の運営順序についての

打合せ

【令和5年7月】

- ①組合決算関係書類・税務関係書類の提出報告と登記事項及び納税完了報告
- ②大空衛主催・第13回配管技能コンテスト参加申込者の当組合からの推薦報告（組合から5名の選手を推薦）
- ③令和5年度「登録配管基幹技能者講習」近畿地区会場でのOJT講習科目講師派遣について
- ④第21回管工機材・設備総合展 OSAKA 2023への出展に伴う役員当番表の作成について
- ⑤令和4年度脱退組合員に対する出資金払い戻しについて
- ⑥その他（①8月定例理事会の休会②11月定例理事会の開催日変更）

【新組合員】

翔栄株式会社

代表者・田和栄次氏

〒570-0011

大阪府守口市金田町3-38-14

TEL.06-4252-0011

FAX.06-4252-0012

（令和5年4月1日新加入）

さくや工業株式会社

代表者・糸谷正大氏

〒535-0004

大阪市旭区生江1-5-5

TEL.06-7503-1798

FAX.06-7502-1995

（令和5年5月1日新加入）

大空衛配管コンテスト

当組合員・ツカサの小谷氏3位入賞

大阪空気調和衛生工業協会主催の第13回配管技能コンテストが8月19日に東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校で開催され、当組合は選手を派遣したほか、試験機器の提供・設置などで運営に協力しました。

コンテストは、次代の優秀な技能者の育成をめざし、全国の空調衛生設備団体の中で唯一、同協会が実施しているものです。

今回は現場の第一線で活躍する技能者21名（一般の部）と建築設備関連の学科を履修中の職業技術専門校や高等学校など5校から学生・生徒17名（学生の部）が参加しました。一般の部では1級配管技能士検定レベル、学生の部では同3級レベルの課題作品制作に挑戦しました。

作品は寸法測定、出来栄え、水圧試験による漏れ検査、作業態度などで審査が行われ、学生の部では大阪工業技術専門学校の小野田



一般の部の競技



3位入賞・ツカサの小谷氏

岳斗さんが優勝し、大阪府知事表彰に輝きました。

一般の部では(株)湖東総合システム（東近江市）の佐野哲広さんが見事優勝し、大阪府職業能力開発協会会長賞を受賞しました。また、当組合会員の(株)ツカサの小谷雅也さんが3位に入賞しました。

各部門の上位入賞者は次の通り

です。（カッコ内は学校名・社名、敬称略）

【学生の部】

▽優勝＝小野田岳斗（大阪工業技術専門学校）▽2位＝大西航世（北大阪高等職業技術専門校）▽3位＝岡潤也（北大阪高等職業技術専門校）▽4位＝中川ひなた（大阪工業技術専門校）▽5位＝植村一輝（大阪工業技術専門学校）

【一般の部】

▽優勝＝佐野哲広（湖東総合システム）▽2位＝石浜康（藤岡工業）▽3位＝小谷雅也（ツカサ）▽4位＝戸田孝（三和工業）▽5位＝横田哲也（三和工業）

ニュースファイル

住宅リフォーム市場拡大

矢野経済研究所がまとめた国内住宅リフォーム市場調査によると、2022年の市場規模は前年比5.8%増の7兆2877億円と推計し、23年はさらに10.1%増の7兆4000億円を見通しています。

23年度については、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したこともあり、外出を伴う消費（旅行、外食、イベントなど）機会が増加することによ

りコロナ禍で一時的に高まったリフォーム需要は低迷する要因を示す一方で、団塊ジュニア世代の持家がリフォーム適齢期にあることや不動産取引価格の上昇を受け、ライフスタイルの変化に伴い住み替えを予定していた人が持家のリフォームにシフトする動きがみられるなどリフォームの需要増加に繋がる動きもあるとしています。さらに、リフォーム工事原価の上昇や高付加価値リフォームの増加により、リフォーム工事単価は上

昇傾向が続くとみられ、今後の住宅リフォーム市場は堅調に推移するとみています。

冷房ドレン管で被覆塩ビ管増加

配管の研究調査と業界への支援活動を推進しているI D E研究所はこのほど、冷房ドレン管で被覆銅管塩ビ管のシェアが拡大していることなど空調設備配管の管種別採用状況の分析結果を発表しました。それによると、冷温水管では配管用炭素鋼鋼管（JIS G 3452、

S G P 白管) のシェアが圧倒的に大きく (事務所で調査対象の70%、病院で76%、商業施設で86%) とし、この傾向は今後も続くと思われますが、セントラル空調の採用が減少していることから量的な拡大は見込めないとしています。

冷媒管では銅管および被覆銅管が90~100%と圧倒的なシェアを占めており、冷房ドレン管では硬質塩化ビニル管が22~46%の採用率でしたが、近年では空調ドレン用被覆塩ビ管が配管施工の省力化の要請の波に乗りシェアを拡大し、病院で42% (塩ビ管は23%)、商業施設で86% (同36%) となりトップシェアとなっています。

被覆塩ビ管は長年「ACドレンパイプ/ACドレン継手」(積水化学工業) のみでしたが、PPIパイプの「空調用ADパイプ&ワンタッチ継手」(2018年)、「断熱ドレンパイプ・継手」、「KCドレンパイプ・透明継手」が発売され、現在4社が展開しています。

近畿のマンション売れ行き低調

不動産経済研究所がまとめた2023年上半期の近畿圏 (大阪、兵庫、京都、奈良、滋賀、和歌山の2府4県) の新築分譲マンション発売戸数は6075戸で前年同期比15.9%の減少となりました。

初月契約率は好不調の目安とされる70%を下回る67.8%で、前年同期から4.11ポイントダウンし、上期として13年ぶりの70%割れとなりました。

平均価格は4774万円で前年同期比6.0%アップし、1平方メートル単価は78.7万円で同2.6%アップしました。単価は上半期としては1973年の調査開始以来の最高値。

なお、7月の発売は837戸で、契約率は66.7%です。下半期は約1万1000戸の発売を見通していま

す (22年下半期1万633戸)。

国交省営繕工事、97%で週休2日

国土交通省は、2022年度に完成した営繕工事について97%以上で週休2日を達成したと発表しました。週休2日の達成要因などに関するアンケート調査の結果、22年度 (22年3月末まで) に完成した対象工事172件のうち、167件 (97.1%) で週休2日を達成したことが明らかになりました。

週休2日を達成できた割合は19年度 (67.4%)、20年度 (78.9%)、21年度 (90.9%) と年を追って伸びており、22年度は前年度と比べ6.2ポイント増加しました。

週休2日を達成できた要因 (複数回答) としては「受発注者間で円滑な協議が実施されたため」(107件)、「適正な工期設定がなされたため」(98件)、「工事間調節が適切だったため」(91件) などが多く挙げられました。

一方、達成できなかった要因としては「執務並行改修での制約」(3件)、「職人確保困難」(2件)、「資機材調達遅れ」(2件) などとなっています。

近畿のタワマン建設50棟

近畿圏で建設・計画されている超高層マンション (20階建て以上) は50棟・1万5678戸 (今年3月末時点) で、昨年の同時期に比べ6棟・3296戸増加していることが不動産経済研究所の調べで分かりました。近畿圏の全国戸数シェアは約15%で、うち大阪市内は30棟・8497戸あります。

なお、全国では287棟・約11万4205戸のタワマンが建設・計画されています。1年前の前回調査に比べ23棟・1万5247戸増加するなど高層マンション建設が加速しています。



パナ／大林組、万博建設現場に顔認証システム導入

パナソニック コネクト (本社・東京都) と大林組は、2025年大阪・関西万博開催に向けて建設工事が進んでいる夢洲 (ゆめしま) の建設現場にパナソニック コネクトの世界最高水準の技術を応用した顔認証システムを本格導入したと発表しました。25年2月末までの工事期間で1日最大5000人以上が工事に従事する工事エリアで、入退場する原則すべての建設作業員および工事関係者を顔認証します。

敷地面積155ヘクタールの大阪・関西万博の工事では様々な協力会社の建設作業員や工事関係者が複数工区にまたがって作業を行っています。正しい現場への入退場管理や不審者の侵入防止が求められており、セキュリティの高度化と同時に効率的な入退場整備が課題となっていました。

大林組には工事の統括施工管理者として自社施工範囲だけでなく工事全体のセキュリティ管理が求められており、今回、顔認証を本格導入することにより、工事全体の効率的な管理と確実な本人認証を両立し、建設作業員にとってもヘルメットやマスクを装着しながらスムーズな現場への入退場を可能にするとしています。

庄司理事長 大阪府知事表彰受賞

組合の庄司真之理事長は、今年の憲法施行記念式で大阪府知事表彰を受賞しました。

庄司氏は大阪府中小企業団体中央会の推薦により、建設関係者として産業の発展に顕著な功績があったとして、5月8日に大阪市北区中之島の大阪国際会議場5階メ



インホールで開催された「令和5年度 憲法施行記念式並びに表彰



式」に出席し、大阪府知事表彰を受賞しました。

「山中さんを囲む会」催す

長年、組合事務局長として組合事業を裏から支え、退職された山中淳市事務局長を慰労する集いが5月25日の通常総会後に催され、久しぶりに出席された立花忠夫・元副理事長はじめ、有志が参加して山中氏のご尽力に感謝を伝えました。

最初に庄司真之理事長が感謝の言葉を述べ、今年度より組合監事に就任された岡崎信一氏の乾杯の発声で開宴しました。玉川義光副



乾杯に應ずる山中氏
(前列中央)



庄司理事長から
感謝状を贈呈さ
れる山中氏（左）

理事長が思い出を語ったり、庄司理事長による感謝状贈呈、斉藤竜

久理事による記念品贈呈、榎本正子事務局員による花束贈呈などが行われ、山中氏はお礼の言葉を述べました。最後に小阪武司副理事長が閉会の言葉を述べて大阪締めでお開きとなりました。

60年で加入企業110万社以上の実績！

退職金は、国がサポートする **中退共制度** をご活用ください。

国の退職金制度

安心

国から掛金の助成を受けられます

外部積立型だから

簡単

従業員ごとの納付状況や退職金試算額をお知らせします

掛金は全額非課税だから

有利

節税に加え、手数料もかかりません



事業主と生計を一にする同居の親族のみを雇用する事業所の従業員も、一定の要件を満たしていれば加入できます。

詳しくは ▶ **中退共** **検索**

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

ちゅうたいぎょう
略称：中退共

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL 03-6907-1234 FAX 03-5955-8211